

平成 27 年度岡山 ESD 推進協議会

## 岡山 ESD プロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 御津の「みどり」と「清流」を守る会団体名 大野川いい川づくり担当者名 河太勝子

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）			
日時	場所	人数	内容
27 年 4 月 19 日	大野川付近	(15)	自然を楽しみながらのウォーキング 春の山野草を探して説明を聞く楽しい散策
5 月 4 日	大野地域	(23)	筍ほり体験 野山の散策 筍を掘って、大きな鍋で湯がき持ち帰ってもらった。 屋には筍ご飯を頂きました。
6 月 13 日	大野川 公会堂付近	(106)	ほたるの鑑賞会 ほたるの勉強会 大野川沿い約 1 km にわたって飛ぶホタルの数を数えたり、ホタルの生態についてのお話も聞きました。
7 月 12 日	大野公会堂	(16)	七夕づくり そうめん流し 大野川沿いに生えている竹を切り、短冊や飾りを作って七夕飾りを大野川沿いに設置しました。
8 月 23 日	大野川	(37)	川遊び 川の生き物調査 大野川に入って、川遊びをしたり、魚やカニを取り、野生生物調査会の皆さんに生き物の名前を覚えてもらいました。
9 月 13 日	大野地域 大野川	(6)	水質調査 家庭汚水の浄化（炭網袋の詰め替） 大野川の上流から下流まで 5 か所で採水し、水 C O D、P H、亜硝酸態窒素の調査を行った。 排水溝の設置している炭網袋の詰め替も行った。
10 月 18 日	大野川の岸辺	(6)	秋の訪れを感じながら大野川散策 大野の紅葉を見ながら、大野川沿いを散策。 故郷の秋を満喫、キノコの沢山入った栗ご飯を味わっていただきました。
11 月 22 日	大野地域	(8)	エコちゃん堆肥で玉ねぎづくり（苗の植え付け） 家庭から出る生ごみをたい肥にし、排水浄化に使った炭を畑に打ち込んで作ります。
12 月 6 日	大野公会堂 大野川	(21)	大野地区でとれた稲わらで正月のお飾りづくり 大野川の草刈り 慰労会
28 年 1 月 24 日	大野公会堂	(16)	水と私たちの暮らしについての勉強会

講師をお願いして

2月14日	大野公会堂（大野川）	(10)	花筏づくり（大野川でのヒヤシンスの水耕栽培） シュロ縄づくりから筏まで手作りで
3月13日	大野川 大野地域	（未実施）	家庭污水の浄化（炭網袋を排水口に設置）

## 2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

大野地域では、昔から大野川の水を使って農業を行い、山の木を切って薪や炭を作って、自分たちでできることをなんでもやって生活を営んできました。

生活が変わり、便利になったが、お金がないと生活できなくなり、自然との関わりも薄くなってしまいました。

そこで、私たちの暮らしと地域の自然との関わりを、再認識し、自然と共存しながら生活することの大切さを学び、地域外の方たちにも体験していただける行事を、毎月計画して実施しました。

地域にある素材を使って、物を作ることや、自然とのふれあい、楽しみを地域の人だけではなく、岡山市街地に住む人たちにも参加していただいて、感じていただくよう工夫しています。

今後もこの故郷の原風景と私達人間の営みとのつながりを考え、この生活が持続するよう、先人の知恵を引き継ぎ、様々な方の参加で交流を深めていけるような行事を考えていきたいと思っています。

## 3. 取組の成果（参加者の変化、感想など）

自然に触れ実感し 勉強会などで得たことから自然の大切さを、よく理解していただけたことと思います。

皆様の、都合もありなかなか参加者が集まりません。

参加者が少ない月もありますが、毎月行うことでより多くの人に自然の大切さ伝えていこうと思います。

エコたい肥で栽培した、夏野菜の味の良いのが実感できました  
これからも、皆様にエコたい肥の作り方など広めようとおもう

私達には気づかない、自然との営みが市街地から訪れた方にはとても印象強く感動されます。

自分たちの飲んでいる飲料水が上流の人に守られ安心して飲める水となっているなど理解してくださいます。

きれいな水を使用してとれた。お米 お野菜がとても美味しいと喜ばれます

**参加者の声** 「豊かな自然を後世に残さないといけない」 いわれます

4. 今後の課題と展望

地元の者がもう少し結束して活動できるようにしたい  
高齢化が進む地元では難しい問題です